

奈良県内のメディア機関と「大和川流域勉強会」を実施しました ～大和川流域の特徴とリスクを知り、住民の命を守るための情報発信について考える～

- 『大和川河川事務所』『奈良県』『奈良地方気象台』の三者で、奈良県内の報道機関を対象に、大和川流域の特徴とリスクに関する講演を実施しました。
- 大和川河川事務所からは、大和川流域の地勢やこれまでの浸水被害、そして令和7年度から運用を開始した保田遊水地といった大和川の特徴と、報道機関に確認してほしい出水時の河川情報について講演を行いました。

【日 時】 令和7年9月16日（火） 13時30分～16時00分

【場 所】 NHK奈良放送局（WEB会議システム併用）

【行政機関】 大和川河川事務所、奈良県、奈良地方気象台、奈良市、王寺町、大阪市、柏原市

【報道機関】 NHK奈良放送局、奈良テレビ放送、近鉄ケーブルネットワーク、こまどりケーブル、ならどっとFM、FMヤマト、FMまほろば、FMハイホー、毎日放送、NHK大阪放送局、

大和川河川事務所からの講演の様子



【報道機関の声】

- メディアに従事する私たちは、**住民の避難行動の目安となる「避難判断水位」「氾濫危険水位」に注目しがち**であるが、河川管理者が「氾濫注意水位」などの河川水位に対して、どのような危機意識を持っているかを知ることができ、大変勉強になりました。
- 私たちメディアも、「避難判断水位」や「氾濫危険水位」に到達してから水位を確認するのではなく、**少し強めの雨が予想される場合は、早い段階から河川の水位を注視し、危機感を高めていくことが必要である**と感じました。
- 令和7年度から運用が開始された保田遊水地に水が溜まる様子を、**河川監視カメラを通じて確認できると伺いました**。今後は「川の防災情報」でその様子を確認し、防災意識を高めていきたいと思います。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
大和川河川事務所 流域治水課
〒582-0009 大阪府柏原市大正2丁目10番8号
TEL 072-971-1381（代表）